

# 新型コロナ禍のご意見募集アンケート結果報告

## 「聞いてみよう、みんなのおもい」

発達障がいを伴う方（子どもさん）は生活の中にさまざまな苦手さを持っています。

新型コロナ禍で、さまざまな不自由さやストレスを感じている方が多い中、お子さんやご家族が、どのように過ごされているか、また困っていることや悩んでいることなどのご意見を募集しました。

お寄せいただきましたご意見・ご質問などに対して、親の会のみなさまからの回答やコメントなどを添えてまとめました。

### ご意見募集アンケートについて

■対象：今治市内にお住まいの発達障がいを伴う方の保護者  
(今治市内に通勤・通学・通園されている方を含む)

■募集期間：令和2年10月15日～12月10日

■実施方法：(1) 郵送

過去に開催した保護者座談会、発達障がい支援に関する交流会への申込者の一部の方にご意見募集アンケートを郵送し、回答をいただきました。

(2) ホームページ

ホームページにご意見募集アンケートと回答フォームを掲載し、回答いただきました。

(3) その他

児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業所説明会時に参加者に配付し、回答をいただきました。

共同募金配分金事業

### 聞いてみよう みんなのおもい

発達障がいを伴う方（子どもさん）は生活の中にさまざまな苦手さを持っています。  
新型コロナ禍で、困っていることや悩んでいることはありませんか？今年度、保護者座談会として、みなさまとお会いすることができませんが、日頃の思いや悩みをさっくばらんに聞かせてください。  
お寄せいただきましたご意見は、次号のお便りで紹介させていただきます。

○対象：今治市内にお住まいの発達障がいを伴う方の保護者  
(今治市内に通勤・通学・通園されている方を含む)

○募集期間：令和2年10月15日～12月10日まで募集しました

返信・提出方法

- ◆ 別添のQRコードを読み取り、専用フォームから入力・送信することができます。
- ◆ 今治市社会福祉協議会ホームページ「発達障がい地域サポート事業」の専用フォームから入力・送信することができます。
- ◆ スマートフォン、インターネットで返信が難しい場合は、郵送またはFAXでお送りいただけますようお願いいたします。  
※返信にかかる通信費、切手代はご負担いただけますようお願いいたします。

切り取り

下記の設問ごとに、該当する欄に  または記入してください。

1. 子どものご年齢は？  
 乳幼児期  小学生  中学生・高校生  青年・成人期

2. 新型コロナの影響で、どんなことで困っていますか？  
 生活リズムの乱れ  メンタルや情緒が不安定になっている  
 数学に難関すること  通学や通勤のこと  
 日常生活全般について  福祉サービスの利用について  
 学校や仕事に行けなくなった  学習の遅れ、家庭学習ができない  
 病院や療育に通うことができない  ゲームや動画を見る時間が増えた  
 健康への影響、運動不足  ストレスの増大や親子関係の悪化

困っていることや悩んでいることを記入してください

3. 新型コロナ禍で、工夫していることはありますか？

4. 他の保護者の方に聞いてみたいことはありますか？

※記入していただいた内容は、記入者が特定されない形で、次号の便りで紹介させていただきます。

ご回答いただいたみなさま、  
ご協力ありがとうございます  
ございました



## Q1. 子どものご年齢は？

子どもの年齢



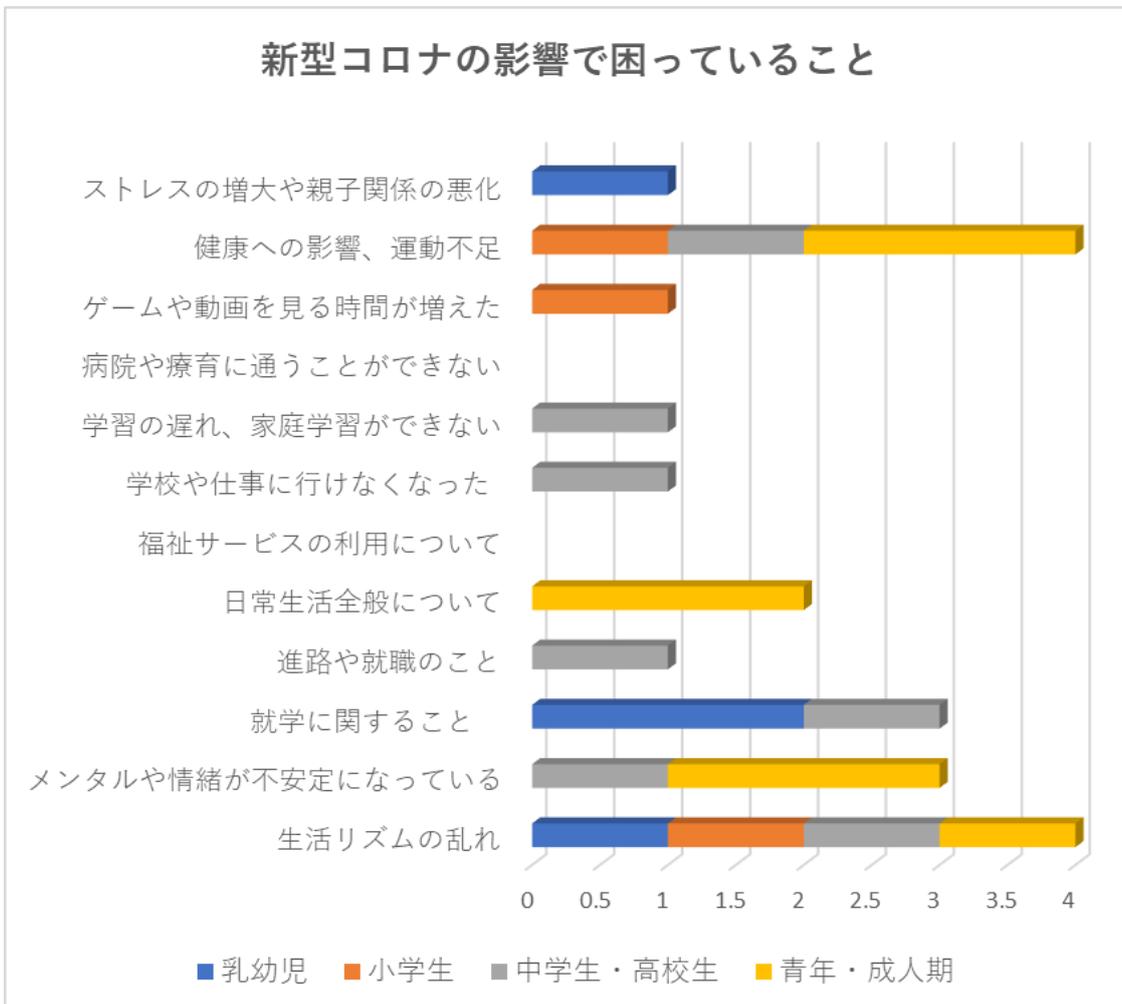
さまざまな年代の方から  
回答いただきました



## Q2. 新型コロナの影響で、どんなことで困っていますか？

1位 健康への影響、運動不足  
生活リズムの乱れ

新型コロナの影響で困っていること



〈困っていることや悩んでいることを記入してください。〉



乳幼児

- コロナがあり色々なイベントが縮小しており、なにか体験させてあげたくても尻込みしてしまう。
- 収入の減少
- どうしても自宅で過ごす時間が増え、親子の時間が増えた分、よいこともあるがお互いがストレスになっていることもある。
- 就学等を踏まえて、今後、運動会等の行事や学校見学、放課後デイの見学などしていきたいがこのような状況下で学校側の受け入れや説明会など従来どおりできるのかと心配している。
- 保護者交流会などの機会が減ったり、縮小したりして、なかなか話を聞ける機会がない。



小学生

- 学校休業中、制限される活動についてなぜダメなのか納得させるのが難しかった。
- 放課後デイを休んだ方がいいのか葛藤があった。
- なにがOKでなにがNGなのか大人も手探りで、子どもに上手く説明できなかった。



中学生・高校生

- 学習時間の確保が大変。



青年・成人期

- お店の多くは、コロナ感染予防の管内放送が頻繁にあり、聴覚過敏の子にとってはとてもストレス。イヤーマフをつけていても、声は聞こえるので・・・(耳栓は苦手)  
管内放送を控えめにしてほしい。
- 相談機関の連携が取れず、基本的な問題解決ができない。

### Q3. 新型コロナ禍で、工夫していることはありますか？



乳幼児

- 退屈しないよう、適度に散歩や体を動かせたりして体調管理しています。
- 自宅内でできる工作や野菜作りなどに挑戦して自宅時間を充実させようとしています。
- 手洗いやうがいなどの感染予防対策を身に付けるきっかけになった。
- ズームなどのオンラインで受けられる講義や勉強会をしたり、参加してみたりなど今までとは違う形で情報を得るようになった。



小学生

- マスク、手洗い。
- 外出時にトイレに行くのを避けるために、家ですませてから出かけるようにしています。
- バッグに消毒液を入れています。



中学生・高校生

- 友人と少人数で夕方ランニングして運動するようにしています。



青年・成人期

- なるべく、人が少ない場所をえらんで行くようにしています。
- 短い時間での買い物。ドライブを楽しむようにしています。

## Q4. 他の保護者の方に聞いてみたいことはありますか？

コロナ禍で、保護者座談会が開催できない中、新しい日常に戸惑いを感じながら、モヤモヤしていた気持ちをもっている方が多いようです。いただいた質問に対して、親の会のみなさんから回答やコメントをいただき、あわせて掲載しています。

### コロナで自宅時間が増えた今、どのように過ごしていますか？

#### ●子どもが好きなことをする

どうしても、タブレットなどを見る時間が増えてしまっています。  
ピアノや絵画、ひとりカラオケなど本人が好きなことをしています。



### 運動不足を解消するためや余暇活動としてしていることは？

#### ●たまには外の空気を！人との接触のないところで、気分転換

Iさん…

ヘルパーさんと出掛けれることがわかったので、人と接触しなさそうな場所に外出しています！

Kさん…

本人（子ども）の好きな電車を見に行っています。



#### ●ウォーキング、ジョギング、自転車でサイクリングなどをしています

Mさん…

外の空気を吸うこと、風をきって走ることが気持ちいいです。

Kさん…

サンアビリティーズ今治のフライングディスクなどの教室に通っている人もいます。

#### ●雨の日は、屋内でできる運動をしています

雨の日は、ボウリングをしています。ボウリング場も感染対策をしてくれています。  
バランスボールなどを取り入れている方もいます。

#### ●親御さんの働きかけも大切のようです。

一人で散歩やジョギングができない子は、親がひっぱっていく時もあります。  
家の中でさわいでも、それはエネルギーを消費しているのだと大目にみえています。

## 支援学級か通常学級を選ぶ上で、決め手になったことは？

### 親の会「いまばりカラース」の方からご経験をふまえて、回答をいただきました

私たち保護者は、小学校だけでなく中学、高校と進路の選択の時には本当に悩みます。この質問は大変難解です。子ども一人一人状態が違うので、情報がわからない中で答えることは難しいです。

ぜひ、『いまばり親の会ナビ』をご覧ください。親の会に連絡を取り、相談してみてください。保護者ならではの視点で相談にのってくれます。「直接、連絡を取ることが、ハードルが高いなあ」と思われたら社会福祉協議会に連絡してみてください。親の会につなげてくれます。

発達障がい支援連絡会のメンバーである親の会の保護者です。保護者座談会では進行役をしています。

**\*様々な保護者さんからのお話や経験をふまえ、質問にお答えします。**

小学校入学でどちらを選ぶかは、「**子どもが楽しく小学校に通うことができるのは、どちらの学級なのか、どちらで過ごすのが子どもにとっていいのか**」という視点で考えるといいと思います。

また、子どもの気持ちを尊重することも大切にしてください。小学校時代に成功体験を積み重ねて、自信貯金を貯める環境を整えることが、その後の成長につながります。

小学校入学時に支援学級を選択した場合でもその後、普通学級に転籍することは可能です。転籍時期は小学校高学年、中学入学時、中学校2年、中学校3年など様々です。普通学級を選択した場合は、通級指導教室を併用する方が多数です。また、支援学級を選択した場合も交流学級ですごす教科、時間（給食、朝や帰りの会、清掃）を担当の先生と相談して増やしたり減らしたりすることは可能です。

**どちらを選ぶかの決め手とは？** ※これはあくまで一つの目安です。

お子さんの状況と学校の環境の両方によります。

#### ◆お子さんの状況としては

- ・幼稚園、保育所での集団生活で他のお子さんとの関わりの様子
- ・幼稚園、保育所での行事の参加の様子
- ・幼稚園、保育所の先生のアドバイス
- ・身辺自立のレベル
- ・診断結果からのアドバイス
- ・WPPSI 知能検査や田中ビネー検査などの検査結果



#### ◆学校の環境としては

- ・1学級の子どもの数
- ・学校全体の子どもの数
- ・通級指導教室があるか（他校に通う場合は、送迎が必要）
- ・支援学級があるか（ない場合、支援学級を希望するなら早めに学校に相談する）
- ・学校を見学した時の印象や子どもの様子

「どんな道を選んでも、お子さんのために真剣に考えた末に出した答えですから、間違いということはないと思います。不安になったときには、一人で抱え込まずに、助けを求めてください。一緒に考えてくれる相談機関や、同じような悩みを経験してきた仲間のいる親の会もあります。お子さんと保護者さんが歩まれる未来を陰ながら応援しています。」

学習時間をどう確保していますか？また、親子間での決まり事やルールを決めていますか？

放課後デイで勉強する子もいれば、しない子もいます。  
学校によって宿題の量が違っていたりするそうですね。  
放課後デイから18時頃に家に戻っても、宿題に取り組めなかったりして  
悩んでいる親御さんも多いようです。



●スケジュールを立てましょう

曜日によって学習する時間を決めたりしてはどうでしょうか。

きょうだい家で過ごす時間が増えた時、トラブルが増える。どのようにトラブル回避をしていますか？

●空間を分けたり、一緒に過ごす時間を極力、減らしたりする工夫をしては

例えば、学習塾などで、兄弟が同じ時間に家で過ごす時間を極力減らす工夫をしています。

●きょうだい児ごとに家族が過ごすようにしています

●共通の楽しみがあると、一緒にしています

共通のできることがあるといいですね。

(子どもの年齢や年の差、上の子、下の子のどちらに障害があるかによっても変わります。)



環境を整えること、支援で行き詰まりや限界を感じたことはありますか？  
また、行き詰まりや限界を感じたときは、どのように対処しましたか？

●トラブルを繰り返し、日々、悩んでしまうことが多いです。

トラブルを繰り返し起こしたり、できていたことでも、急にできなくなるなど「退行」することもあります。

●ひとりで抱え込まず、相談しましょう

行き詰まりは誰にでもあるのではないのでしょうか。

行き詰った時に、自分で抱え込まないこと、自分を責めないことが大切です。  
相談員や他の家族に相談してみましよう。

●リフレッシュしましょう

好きな時間をつくるなどして、自分のストレス発散方法を見つけることも大切です。

